

沖仁フラメンコギターコンサート with 小沼ようすけ&U-zhaan

沖仁 フラメンコギター

幼少の頃より尺八、ピアノ、ドラム、ベースを経てエレキギターに出会う。カナダにてクラシックギターを学んだ後フラメンコギターを岡弘嗣、伊藤日出夫、セラニート各氏に師事。日本とスペインを往復し、生活の中のフラメンコを吸収しながら20代を過ごす。日本フラメンコ協会新人公演にて奨励賞受賞。2006年メジャーデビュー。2010年、スペインのフラメンコギター国際コンクール国際部門で日本人初の優勝。その様子を密着取材したTBS系「情熱大陸」で大きな反響を呼ぶ。フジテレビ系「ヨルタモリ」ではバーの常連客として出演。フラメンコギターの教則本を出版や、EXILEへのシングル曲提供など、執筆、プロデュース、作曲に力を入れる。20カ国以上の海外での演奏、各ジャンルのトップアーティストとのコラボやオーケストラとの共演、バレエ、長唄、能との共演など多岐に渡りフラメンコの枠を超えた価値創造に邁進。後進の育成にも力を注いでいる。

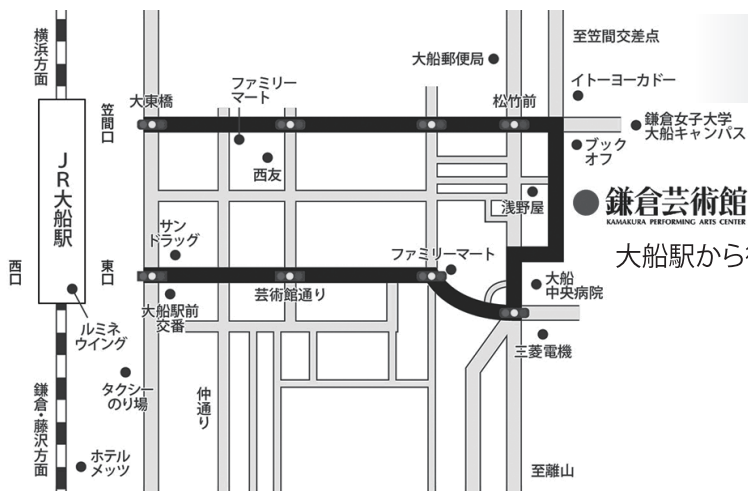


小沼ようすけ ジャズギター

秋田県出身
1999年ギブソンジャズギターコンテスト優勝。
2001年にSONY MUSICよりデビュー
2004年、リチャード・ボナ(ba)、アリ・ホニッグ(dr)をフィーチャーしたトリオアルバム“Three Primary Colors”をNyで録音。
2010年「Jam Ka」発売。グアドループの民族音楽グオッカの太鼓(ka)がフィーチャーされたこの作品で独自の世界観を展開。
2016年、パリで録音された「Jam ka Deux」をリリース。
この作品をきっかけにParisやMunichのジャズクラブ、Martinique Jazz festival、グオッカの本拠地Guadeloupeで行われた“Festival Eritaj”に出演。ジャズをベースに様々な国を旅して得た影響、経験を音楽に採り入れながら、世界を音で繋ぐ創作活動を続けるギタリスト。
最新作は初のソロギター作品『Your Smile』
<http://www.yosukeonuma.com/>

ユザーン U-zhaan タブラ

オニンド・チャタルジー、ザキール・フセインの両氏からインドの打楽器「 tabla 」を師事。2014年に坂本龍一、Cornelius、ハナレグミらをゲストに迎えたソロ名義のアルバム『Tabla Rock Mountain』をリリースした。「あいちトリエンナーレ2019」では毎日10時間の tabla 練習を40日間に渡り一般公開するインスタレーション『Chilla: 40 Days Drumming』を発表。2021年にU-zhaan×環ROY×鎮座DOPENESSによるアルバム『たのしみ』、2022年には蓮沼執太&ユザーンとしてアルバム『Good News』をリリースしている。



鎌倉芸術館 〒247-0056
神奈川県鎌倉市大船6-1-2
TEL:0467-48-5500 FAX:0467-48-5600



大船駅から徒歩約10分